

# 酒々井町郷土研究会々報

第39号

昭和61年1月1日  
発行  
酒々井町郷土研究会  
編集

## 新年の今昔

### 年中行事 (四) 酒々井

新年にはいろいろな行事がたくさんありました。その行事も時代とともにさまざま変りして簡素化してあります。これも時代の流れでやむを得ないことでありましょう。

**門松** 俳句歳時記によると門松とは、新年を祝って家の戸口や門前に立てる松とあります。この門松も、大正から昭和初期ごろは、新年ともなればどの家でも、大小の差はあっても門松を立てて正月を迎えたものですが、戦時態勢になるに従って資源確保の立場から門松の簡素化が唱えられるようになって、現在のようには、県緑化推進委員会から配布される貼紙を門口に貼って済してしまふ、なんとも味気ないものとなつてしまいました。

## いざいざ



**注連飾り** 藁で作って、氏神や神棚に飾ります。注連飾りは農家で今でも大体実施してあります。町家では市販のいざいざ注連飾り飾るのが普通となっております。

**供え餅** 丸くまるめた餅を二つ重ねて、神棚、仏壇、氏神、床の間などに供えます。この風習はまだどの家にも残っており、神棚のある家では必ずお供えしてあります。

**お雑煮** 雑煮は普通正月三ヶ日祝うが、家によっては六日まで連続雑煮のところもあります。旧家では家風として雑煮の作り方が伝承されているようでありすが、一定した作り方はなく各家各様

になってるようです。本来関東では角餅にすまし汁、関西では丸餅に味噌味が定説のようでありすが、最近の当町の住民の出身地も全国的となつてるので、雑煮の種類も多様化してあるようです。

**七草粥** 七草粥は正月の七日に春の七草、せり、なずな、ごぎょう、はこべ、すずな、すずしろ、ほとけのざの七種の青菜を入れてつくるのが本式とされています。

七草粥を食べると万病を除くと信ぜられ、古く平安時代から行われていたといわれています。酒々井地方でも昭和初期ごろまでは盛んに作られていたが、いまではそれも一部の家で守っているにすぎないようです。

**小豆粥** 正月十五日、小豆と餅を入れた粥を食べて食べる行事であります。七草粥とともに全国的に行われましたが、七草粥は塩味であったのに対して小豆粥は砂糖を入れて甘くして、神、仏に、柳箸(柳の枝で作った箸)を副えてお供えします。

小豆粥の行事も昭和初期ごろまでは農家では必ず行っていたようですが、今では極く僅かな家々で伝

統を守っているのみとなりました。新年の行事も時代とともに変化し簡素化されつつあります。淋しいことではありますすが、これもやむを得ないことでしよう。



酒々井町と

軍司令部



加川治良

酒々井町に 敗戦のとき、軍司令部がありましたが、当時のことは少しづつ忘れられようとしています。

詩人の鳥海哲子さん達が書かれた発行された、私の戦争体験記(五七年九月 県立市原高等女学校「鏡会」有志)の当時千葉県下に展開していた護北兵団の中での貴重な手記のなか、各兵団の総司令部が酒々井にあったと記録されていますが、全容は不明とのことでした。鳥海

相京記

さんから、シ第百四十七師団  
(護北兵団) 概史シ「北海道  
旭川 森井之清」のコピーを送  
っていただきました。

敗戦直前二十年二月二十八日、大本  
営は本土決戦の第一次兵備を発令し  
ました。  
沿岸防衛に第一総軍他を編成しま  
す。(総軍司令官 杉山元 東京)

その総軍の下に第十二方面軍(方面軍  
司令官 田中壹 東京) その戦闘序  
列に第五十二軍(軍司令官 重田徳  
松 酒々井)が編成されました。

第五十二軍戦闘序列(捷)  
軍司令官 中将 重田徳松  
司令部 佐倉東方 酒々井シ  
その戦闘序列は次の通りでした。

- (1) 近衛第三師団 成東 範
  - (2) 第一五二師団 八日市場 護北
  - (3) 第二三四師団 大網 利根
  - (4) 第一四七師団 鶴舞 護北
- 他に 戦車第三師団 野戦重砲第  
一四・二七他 迫撃砲第四六大隊 他  
独立工兵第六九大隊が編成されまし  
た。

(1) 近衛第三師団は、近衛ハ九十  
の各連隊で十九年四月に編成され、千葉  
県下に展開していましたが、五十二軍の配備で  
成東に配備されます。師団長 山崎清次  
東京(師団管轄)

(2) 第一五二師団 四三七、四四〇部隊

熊崎清次 金沢  
(3) 第二三四師団 三二二、三三四部  
隊 永野亀二郎 東京  
(4) 第一四七師団 四二五、四八部  
隊 石川浩三郎 旭川  
他に(独立戦車第三師団 田畑与三  
郎 師団通称名 徹 千葉北方)(東  
京湾兵団 大場四平 房 船形)  
他が千葉県下の敗戦時の第五十二軍  
の配置です。

(史料は、前記した史料、敗戦時の編  
成表、なお利根シは戦争序列に  
なく、師団司令部のみで編成未  
了)



米軍の日本上陸作戦は、二十年秋、  
南九州上陸、二十一年三月一日、九十九里  
浜、相模湾大磯に両面上陸を計画し  
ていました。この作戦に対して水が  
わで叩くシ決三号作戦計画(汀  
作戦)を準備しましたが、正面から対  
抗しても勝はないという事で、背  
後からゲリラ戦を戦うという構想  
でした。(護北兵団参謀長 小

林茂本氏の回想談) もう少し戦  
争が長ければ酒々井もシ沖繩戦シの  
ような悲劇が現出したかも知れ  
ません。

◇軍司令部について、御記憶の  
方は郷土研究会にお知らせ  
下されは幸いです。



**第二回町民号について**  
町民号は昨年について今年も  
二月八日(土)九日(日)実施される  
ことは既に告知の通り存じます。  
郷土研究会としても協力をする  
ことになっております。振って参  
加をお願いいたします。

直接総務課又は町史編  
さん室、地区役員にお申込み  
下されは  
グループと  
して参加  
いたします  
のシ協力  
をお願い  
いたします。

郷土研日誌		会計報告	
10月5日	れんげ播種、町内10数ヶ所	参加者	60名
10月5日	古文書学習会		14名
10月10日	会報 38号発行		
10月12日	史談会、相模新院寺聖徳太子上岩 橋長福寺尼沙門天見学		14名
10月13日	名勝探訪 目黒方面		19名
11月9日	古文書学習会		11名
11月12日	銚子方面見学会 A班		37名
11月15日	, B班		38名
11月16日	史談会		6名
11月19日	銚子方面見学会 C班		33名
11月21日	会報編集委員会		8名
11月23日	名勝探訪 高尾山方面		31名
12月3日	見学地選定委員会		11名
12月5-6日	携縦策 房州方面一泊見学会		48名
12月7日	古文書学習会		7名
12月11日	銚子方面見学会 D班		29名
12月14日	運営委員会		27名
12月20日	会報編集委員会		8名
		房州一泊見学会	60.4%~4%
		収入 会費 13,000 x 48人	624,000-
		万電払込	16,000-
			¥ 640,000-
		支出 万電支払	521,270-
		運転手、助手、7人	8,000-
		、料理当代	2,000-
		芸者、女中、7人	15,000-
		三笠見学科 360 x 48人	17,280-
		有料道路	1,600-
		料理当代 48人	23,040-
			¥ 588,190-
		差引残高 51,810-	51,810円
		銚子方面見学会 4回計	
		収入 会費 1500 x 137人	205,500-
			¥ 205,500-
		支出 バス代 2000 x 4	32,000-
		中食代 4回	141,000-
		電車賃 4回	13,990-
		有料道路 4回	2,000-
			¥ 188,990-
		差引残高 16,510	37,209円



尚酒々井町  
サービス会発  
行のサービス  
券が旅行  
費として  
使用出来  
ます。詳し  
くは町役場  
総務課に  
お聞き下  
さい。



県内見学会に  
参加して  
杉山 玲子

朝のテレビドラマで有名になつた笹川の入正醬油と、宗吉がおるのロマンスにゆかりの地をたずねる『零つくりの旅』が計画され、参加を申し込んでおいた当日がやつて来た。

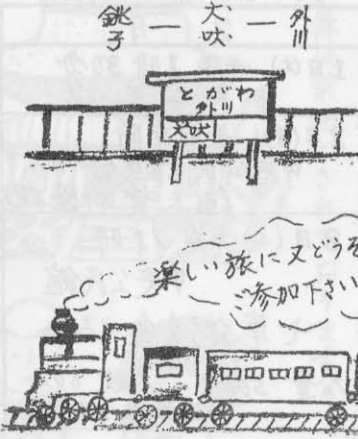
風もなくおだやかな空模様だ。会員を乗せたバスは定刻に出発し、まず笹川の諏訪神社に詣でる。神社の裏手にある祠の二が子授けの神様だと聞き、娘によい子が授かるようにと祈る。

入正醬油につくと長身のハンサムな専務が迎えに来て下さった。この方がドラマの久兵衛さんのモデルなのだろうか？

ナフトール混入事件は入正が実際にまきこまれた事件だそうだが、外に娘がいたと言う事実はありません等と比喩の笑いを誘いながら説明して下さった。  
広敷や、巨大な樽が並び口を現場にもなった仕込蔵も見せてくれたのだが、古いものを守って行くには

大変な苦労があるらしい。建物はそのままでも、工場の中は機械化が省力化が進んでいる。熟成に十ヶ月近くかけて、丁寧に造られた醬油には、こっくりとした深い味わいがあるようで、土産に買求める人が多かった。

犬吠電灯台の下で昼食をとった後、銚子電鉄の犬吠の駅からかおるが宗吉に逢いに往く時に乗った電車にのり、外川で下車、木造の駅舎がいかに昭和初期の小さな電鉄の駅にふさわしいたにすぎない。



外川港をみて、漁師の守神の金毘羅宮に参拝して帰途につく。楽しかった旅も終りに近づき比喩、疲れが出たのか言葉少なである。酒々井に近づくとつれ家のことや気になるだし、いやでも又日当中の生活の中に引きもたされてしまうのだ。



大野 由紀

初冬の光をいっぱいにかけて、車中の明るく人のなごやかなが溶け合い、一路横須賀へ向かいました。

車のラッシュにあつて目的地に着いたときは、一ときの遅れはありましたが、鳥飯お弁当の昼食を済ませると、不思議に心が落ちつき、戦艦三笠の偉容をたにすぎみに自ずから礼を捧げました。久里浜から浜金谷に上陸し、待ちかまえてくれた豊明殿の女主人と、その従業員の方たちに迎えられる、漸く旅人らしく浴衣に着かえた時の安堵感に心身共ほぐれてゆきました。

楽しみのお夕食を戴きながら会員有志の演歌、おどりを鑑賞する喜びも味わうことが出来ました。時は流れて役員さんの明日のコースの説明を聞き、各自名残りを惜しみつつ与えられたお部屋にもどり寝に就きました。

明け六日、天気晴朗、国分

寺の見学、安房神社、県立安房博物館、野鳥の森を見学し、学生の頃の探究心を思い起して何かしら、自分でわからない感動に浸りました。

帰途太海の海産物店に寄り、おみやげ品を調べて、家路に向かつてまじく、波のり道路を突っぱしりみんな対向車の台数予想を練りながら、なごやかな雰囲気の中に、家族の待つ酒々井に近づいてまいりました。

会長さんはじめ役員さんの方々、日頃のご配慮とご苦勞に更めて感謝いたします。

二日にわたるふれ合いの喜び、又かつて知らなかつた事柄の発見、みんな大きな収穫となりました。終りに郷土研のご発展を祈り、会員皆さんの御健康を念じつつペンをおきます。



町民号の旅も近づきました皆様の参加お待ちします

郷土研行事案内

61年1月~3月

総会	1月25日(土) 中央公民館 議事・60年度事業報告・会計報告 午後1時受付 1時30分開会 「61年度会費受付」 議事終了後文化映画上映 審議承認		
役員会	1月21日(火) 午後1時30分 総会準備 中央公民館		
文化財愛護	3月30日(日) 午前9時—上岩橋貝層、横定古墳 草刈、清掃 (現地集合) 午後1時—伊篠松並木、保護清掃 雨天中止 代替4月6日(日)		
県内見学会	コース—師戸城跡公園—岩戸泉福寺—角田栄福寺— 松虫寺—安食閨門—大鷲神社—帰着 3月 11日(火) A班 14日(金) B班 18日(火) C班 会費1,000円 申込受付 1月13日9時以後 出発 午前8時30分・中央公民館前 西史編さん室まで(96-1171)		
	1月	2月	3月
古文書学習会	休	1日(土) 午後1時30分 中央公民館	1日(土) 午後1時30分 中央公民館
石仏民俗調査	休	2日(日) 午前9時 中央公民館集合 (雨天資料整理)	9日(日) 午前9時 中央公民館集合 (雨天資料整理)
野草の会 名勝探訪	12日(日) 午前8時 17日(金) 京成酒々井駅集合 一葉記念館—旧居跡—大鷲神社 入谷鬼子母神—笠の雲(居倉)— 書道博物館—子規庵跡 (雨天中止)	8日(土) 午前11時 中央公民館 七草粥を食べる会 会費500円 人数60名 申込受付1月13日	8日(土) 午後1時 京成酒々井駅集合 佐倉厚生園庭園—順天堂 千成団地—京成大住倉駅 (雨天中止)

編集後記

会員の皆様おめでとうございます。年が明け、何となく一年が早く終わったような気が致します。今年も総会に始まって盛沢山な行事が待って居ります。旧年の秋に種を播いたれんげ、果して美しい花園になつてくれるでしょうか。期待やら不安やら春が待遠しいですネ。皆様に親しんで頂ける会報にしたいと編集員一同ない知恵を絞って頑張っております。御意見など、どうぞお聞かせ下さい。風邪の季節、旅行キャンセルされた方々、もう治りましたか。お元氣な方もどうぞ御用心下さい。



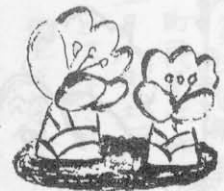
見学会案内

県内見学会 西 3/11 3/14 3/18

今回の見学会は印西地区の国指定重要文化財、岩戸の泉福寺、角田の栄福寺、松虫寺の七仏薬師を中心とした名勝めぐりを計画。印西地区の自然に触れてみることにしました。

名勝探訪

- 今回は二月十二日(日)と十七日(金)の二回行いますので都合のよい日に参加して下さい。
- 薄命な明治の佳人作家の遺品などのある桶口一葉記念館。
- 西の市の賑いで知られる吉原の大鷲神社。
- 毎年七月六日の朝顔市で賑う「おそれ入谷」の鬼子母神などを探訪します。
- 中村不折旧邸の書道博物館。
- 昼食は江戸以来の豆腐料理の老舗「竹世の雪」でとる予定です。



福寿草

元日草とも、われ、その名の通り縁起のよさと、花の美しい寒期に咲く黄金色の花が珍重される。正月の飾物としてふくよかさをたよわされてくれる。福寿草いっしょにぼす真砂か、福寿草家族の、こころにたまり。